

## リードカナリーグラス草地における雑草化したイタリアンライグラスの防除

小山信明・進藤和政 (九州農業試験場)

## Nobuaki KOYAMA and Kazumasa SHINDOU: Control of Italian ryegrass in cutting sward of reed canary grass

近年、酪農家を中心に労働力不足を解消するためロールベールの利用が急速に進んでいる。熊本県では、ロールベール向け草種としてリードカナリーグラスが栽培され始めている。

ところで、これまでイタリアンライグラスを栽培していた圃場にリードカナリーグラス草地を造成したところ、自然下種したイタリアンライグラスが発生し、リードカナリーグラスの生育が抑制されている草地を見かける。そこで除草剤(ジクワット・バラコート液剤)を用いてイタリアンライグラスを防除する試験を行った。

## 1. 試験方法

試験は、九州農業試験場内に1993年9月13~14日にかけて造成したリードカナリーグラス草地(3ha)を用いた。なお、この草地の前作はイタリアンライグラス(品種タチワセ)であった。

除草剤はジクワット・バラコート液剤を用い、散布はリードカナリーグラス(品種ベンチャー)の地上部は枯れているが、イタリアンライグラスは生育(葉色は緑で枯れていない)していた1995年2月15日に行った。なお、除草剤散布時のイタリアンライグラスは、草丈12cm、茎数595本/m<sup>2</sup>であった。

試験区は除草剤区と無除草剤区を設けた。概要は次の通りである。

## 1) 除草剤区

面積: 2ha

除草剤: ジクワット・バラコート液剤(1000ml/10a)

散布時期: 1995年2月15日

掃除刈りおよび追肥: 1995年4月7日に掃除刈りを行った。追肥はイタリアンライグラスの生育を抑え、出穂数を少なくするために行わなかった。

## 2) 無除草剤区

面積: 1ha

掃除刈りおよび追肥: 4月7日の掃除刈り後、追肥(窒素一磷酸一加里を各々5kg/10a)を行った。

## 2. 結果および考察

除草剤の散布時期が2月中旬と気温の低い時期に行ったため、除草剤の効果があるかどうか疑問もあった。しかし、除草剤散布後にイタリアンライグラスは、ほぼ完全に枯死し、このような低温の時期でもジクワット・バラコート液剤は、イタリアンライグラスに対して除草効果が有ることが分かった。

掃除刈りは、イタリアンライグラスの生育を抑制するため、急激な伸長を始める直前の4月7日に行った。掃除刈り後再生したイタリアンライグラスとリードカナリーグラスの生育を5月18日と23日に調査し、結果を第1表に示した。除草剤区のイタリアンライグラスの草丈、茎数はいずれも無除草剤区に比べて小さかった。特に、茎数は無除草剤区の686本/m<sup>2</sup>に比べ、除草剤区は7本/m<sup>2</sup>と極めて少なかった。また除草剤区では小穂はほとんどなく、次年度にイタリアンライグラスが発生する恐れはなくなったと判断された。

リードカナリーグラスとイタリアンライグラスの5月18日および23日の乾物重を第2表に示した。イタリアンライグラスの乾物重は無除草剤区の265kg/10aに比べ除草剤区では8kg/10aと少なく、除草剤処理によってほぼ完全に防除できた。

リードカナリーグラスの中に発生したイタリアンライグラスを防除するためには、造成2年目の春に掃除刈りを行って、イタリアンライグラスの生育を抑制すると共に、種子を落とさないためには出穂始めに収穫するのが望ましい。しかし現場では必ずしも適期に掃除刈りや刈り取りができるとは限らない。九州農業試験場でも、降雨のためイタリアンライグラスの掃除刈りが適期にできず、多数の種子が生産され、草地に落下した。この落下種子が秋に多数発芽した。この様なリードカナリーグラス草地に発生したイタリアンライグラスを防除するには、本試験の結果から、ジクワット・バラコート液剤(1000ml/10a)を2月中旬に散布し、イタリアンライグラスの生育を抑え、種子を落とさないため、4月上旬に掃除刈りを行うと良いと考えられた。

第1表 リードカナリーグラスと自然下種したイタリアンライグラスの生育(1995年5月:3年目)

項目	草種	除草剤区	無除草剤区
		5/18	5/23
草丈(cm)	リード	69	91
	イタリアン	44	101
茎数(本/m <sup>2</sup> )	リード	440	368
	イタリアン	7	686
小穂数(個/m <sup>2</sup> )	イタリアン	殆どなし	13,479

第2表 リードカナリーグラスと自然下種したイタリアンライグラスの乾物重(kg/10a, 1995年5月:3年目)

項目	除草剤区	無除草剤区
	5/18	5/23
リードカナリーグラス	248	227
イタリアンライグラス	8	265
合計	256	492

注) a) 除草剤区は4月7日の掃除刈り後の追肥なし  
b) 無除草剤区は掃除刈り後、追肥を行った